

## 平成24年度 市政方針

詳細 政策推進課 回(32) 6039

### 財政基盤の確立、そして経済活力を起点とした活気ある苦小牧づくりへの挑戦

第5回市議会定例会で、岩倉市長は平成24年度の市政方針と予算案を説明しました。市政方針では、「誇れる街、苦小牧」を目指し、財政健全化に向けた取り組みを積極的に推進するとともに、先を見据えた施策を展開し、市民の皆さんが将来にわたり明るく生き生きと暮らせるまちづくりを実行していく強い決意を表明しました。市政運営に臨むにあたり基本政策として3項目、今年度において取り組む重点施策としての9項目、主要施策として総合計画に基づく5つのまちづくりの目標に沿った施策を掲げました。



岩倉 博文  
いわくら ひろふみ  
苦小牧市長

### 本

市は、物流の拠点である国際港湾と国際空港を擁する交通の要衝という利点を生かし、工業都市として発展してきました。私は、資源のない我が国において、雇用問題や少子高齢化などに対応し、持続可能な社会を実現するためには経済活力が重要な軸であると考えています。道内の経済活動の根幹を支えている苦小牧港が、これまでの機能に加え、災害復旧時の重要な役割も担えるよう、引き続き整備促進に努め、私の2期目の目標である「財政基盤の確立、そして経済活力を起点とした活気ある苦小牧づくりへの挑戦」に向け、邁進します。

私は、今年の行動指針を、困難をものともせず目的や目標に向かってひたすら突き進む姿勢を意味する「勇往邁進(ゆうおうまいしん)」としました。厳しい財政状況が続くなど、先行きの不透明な状況でも、時代の流れを的確に捉え、進むべき方向を見失わず、今なすべき施策にしっかりと取り組み、市民の皆さんが将来にわたり明るく生き生きと暮らせるまちづくりを、責任を持って実行します。

### 基本政策

#### 財政健全化

財政健全化は、行政改革プランと連携を図りながら、第1学校給食共同調理場業務や広報紙作成業務の一部民間委託、自動車運送事業の民間移譲による会計閉鎖など、着実に取り組んできました。平成22年度決算においては、財政健全化の数値目標を達成していますが、長引く景気低迷により、今後も厳しい財政運営が続くことから、引き続き財政健全化に取り組みます。

#### 行政改革

行政改革は、平成22年度に策定した行政改革プランの全体見直しを実施し、さらなる推進を図ります。指定管理者制度は、新たに総合体育館に導入するほか、市民会館の公募を進めます。また、モニタリング制度の見直しを行い、着実に運用します。市役所の組織体制は、昨年策定したコンプライアンス指針に基づき、より一層の職務規範の徹底やリスク管理を行い

ます。また、職員配置適正化方針に基づく定員管理を実施するほか、民間委託や事務事業の見直しを進め、適正かつ効率的な行政運営に努めます。

#### 市民自治の推進

市民自治の推進は、市民自治推進会議を中心に、自治基本条例の今後の運用方針の検討を進めるほか、市民編集グループによる、子ども向け冊子の編集作業を継続します。市民参加は、若年層を中心に市民周知の取り組みを推進します。また、市政レポーターを「とまレポ」と改称して実施するほか、まちかどミーティングなどを引き続き開催し、今後も市民の皆さんの情報共有に努め、いただいたご意見を可能な限りまちづくりに反映します。

### 重点施策

#### 企業誘致

企業誘致は、物流拠点としての優位性と、企業立地振興条例による助成制度を積極的にPRし、ものづくりや自然エネルギー、CCS(CO2の回収・貯留)に関連

する産業などの誘致に取り組みます。また、既存の立地企業のニーズを常に把握し、各種相談や手続きなど、きめ細かなフォローアップを行い、企業への支援と信頼関係の維持に努めます。

#### 景気・雇用対策

景気対策は、市が発注する工事などは、可能な限り地元企業の優先活用に配慮し、早期発注や分離分割発注を積極的にを行います。雇用対策は、緊急雇用対策事業や新卒高校生等雇用奨励金交付事業の継続により、新規雇用の創出に努めるほか、被災者および求職者を対象に、震災等臨時職員雇用創出事業を実施します。

#### ゼロこみ 053大作戦～ステージ3～

大作戦シリーズは、有料化に向けた丁寧な市民周知、こみ減量への取り組みの推進、分別品目拡大への取り組みなどを柱とした「053大作戦～ステージ3～」を展開します。きめ細かな説明会を開催するなど、市民・事業者・行政が協働して様々な事業を展開し、こみ問題について、まちぐるみで考え、参加、行動を実践します。